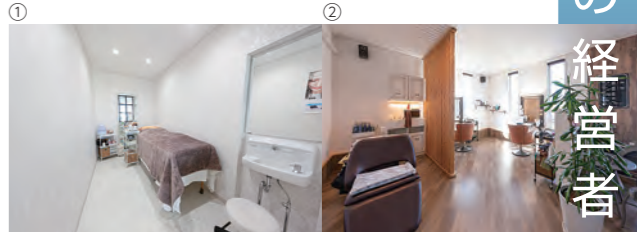




### 母のような美容師になりたい

JR南椎内駅の表通り側は、通称「オレンジ通り」と呼ばれる飲食店が連なり、南神社の例大祭なども行われる賑やかなストリート。それとは対照的に大黒南神社が鎮座する道106号の駅裏は、閑静で落ち着いた通りになっていて、その朱塗りの鳥居と小さな社殿のそばに美容室があります。その場所から38年前、**呷美圭**さんは産声を上げました。もの心ついた頃から美容師である母親の背中を見て育った彼女は、ごく自然に「大きくなったらお母さんのような美容師になりたい」という夢を



①まつげエクステンション、通称「まつエフ」を施術するルーム。  
②店内には2席のドレッサー、シャワーブースが備えられている。

# 呷美圭さん

Luana by. OSHAREKAN | 代表・美容師



店舗のある椎内市緑1丁目の海抜は約17m(椎内市ハザードマップ参照)。裏手にある南小学校の丘まで登れば、街の向こうに海が見える。



ウェイトングテーブルから見たカウンター。

## 理容の道から、美容師へ。遠回りしてきたけど、それはリラクゼーションを追求するための道でした。

持つ女の子になりました。当時の店の名は「おしゃれ館」。ほぼ半世紀前の1970(昭和45)年に、母ハナ子さんが開業した市内屈指

の老舗美容室です。2019(令和元)年9月には、美圭さんが代表者となり店舗をリノベーションし、「Luana by. OSHAREKAN」として生まれ変わりました。20代・30代の女性客を中心に、下は3歳の子どもから90歳のおばあちゃんまで、幅広い年齢層から支持される、おしゃれな美容室として新しい歴史の1ページを加えたところでおしなみにお母さんも現役とのことで、この街とともに齢を重ねてきた常連さんの数も少なくありません。それでも美圭さんを慕い、高齢者福祉施設から月に一度の美容室通いを楽しみにしている人もいます。時に身寄りのない方の場合、車で送迎することもあるのだとか。

### 番外で理容の世界に

「美容師以外の道を考えたことはありません。地元の高校へ進学したものの日増しに『どうせ美容師になるんだもの。それなら早い方がいいんじゃないか』と思って高校を自主退学しました。それで改めて旭川理容美容専門学校(昼間課程2年間)へ入学したのです。しかし待ち受けていたのは、思いもよらない番狂わせでした。もちろん美容学科を志願していたのですが、面接時、校長先生から『理容学科はどうですか?美容と同じようにネイルやエステ、メイクアップ、ブライダルも学べますよ』と言われ、理容・美容の違いもさほど分からないままに、はい」と。

### 一番遠い回り道が一番の近道



理容室勤務時代は苦手だった男性客も現在は2割ほどあるとか。

実はそれにはワケがありました。ちょうど当時、木村拓哉さんが主演の『Beautiful Life』ふたりでいた日々」というテレビドラマが大ヒットしていたのです。木村さんはカリスマ美容師役で、世間では空前の美容師ブームが巻き起こっていました。理美容学校もその影響をもちに受け、美容学科は異常な倍率で定員オーバー。逆に理容学科は定員割れ、人材確保が難しくなったのです。そんな時代背景もあって、私は理容の道へ進まざるを得ませんでした。」

### 男性に対する苦手意識を覚えて

「志を同じくする者が集うため、学校生活は、それはもう楽しくて。学生交互に行うマッサージュやヘッドスパ、ツボの実践勉強。熱々の蒸しタオルやツルツルになった顔剃りの気持ちの良さも日々痛感しました。これは女性や美容師には実感することが難しいかも知れませんが、男性向け理容の場合、基本的に頭髪の刈込み、顔剃りなどにより、容姿を整えることで清潔感とリラクゼーションを提供する場です。対して、パーマやウェ

ーブ、結髪、化粧などの方法によって、容姿を美しくすることを主眼とした美容の世界とは違っていました。卒業後は椎内に戻り、市内の床屋さんに勤務しましたが、早速、大きな壁にぶち当たってしまいました。新人は誰もがアシスタントとしてシャンプーやマッサージュなどを担当するのですが、困ったことにシェービングの時、目を閉じてくれないのです。男性心理が理解できず、若い女の子に対する面白半分、からかい半分の視線を感じながら仕事をするのが苦痛で、やがて方向転換を考えるようになりました。

### もう一度美容師になる夢を叶える

「20代も終わろうとしている頃、美容師の資格を取るために、再び旭川理容美容専門学校(通信課程3年間)に通い直しました。通信教育といっても、単位として決められた時間・日数を受講しなければなりません。そのため平日は旭川でウィークリーマンションやビ

ジネスホテルに泊まって学校へ。土日は必ず店にいらなくてはならないので、金曜日には椎内に戻って、そしてまた日曜日の仕事が終われば旭川まで車を走らせ。行きも帰りもいつも夜中でした。そんな地獄のような3年間を味わい、ようやく手にした資格でした。当初私は学校では年長者かなと思っていたのですが、フタを開けてみてビックリ。子育て奮闘中のお母さんや40代・50代になって手に職をつけようと通信で学んでいて、私など問題にならないほど苦労されているのです。同時に、改めて裾野の広い職種であることを実感しました。実際に私も美容師の国家試験に合格したのは30歳を過ぎてからでしたが、決して遅過ぎることはありませんでした。むしろ若い時代に、真っ直ぐ美容師になるよりも、理容の勉強と経験を重ねることがとても役立っているのです。遠回りしてきて良かった。そう思っています。」

### リラクゼーションあふれる店に

「晴れて美容師となった私の日常は、さらに多忙を極めました。そんな娘の体を心配してか、見かねた母が『私も歳だから店を譲るよ』と言い、ある日突然、業者が店舗兼住宅を壊し始めたのです。独立できないでいる私に、踏ん切りをつけさせる戦略だったのでしょうか。

そんな事情から短期間のうちに店のコンセプトや設計も考えなくてはなりませんでしたが、一つのキーワードが立ち上がってきました。それは、『リラクゼーション』。理容業で身につけたマッサージュやヘッドスパからヒントを得たものです。一人でも多くの人に、ここで楽しくくつろいでもらい、癒やしと安らぎに包まれ心身の緊張をほぐしながら、文字通りリラククスしてほしくて。ネーミングは、そういう意味合いのあるハワイ語の「Luana」とし、母への感謝と尊敬の念を込めて『おしゃれ館』を欧文で残すことにしました。

2席ばかりの小さな店ですが、気持ちの良いマッサージュ効果の高いヘッドスパ、頭皮クレンジングなどのメニューも用意しています。お客さまからも『こんなに気持ちがいいなんて!』『ここまでしてくれるお店は初めて!』と好評をいただき、私のやり甲斐につながっています。また、正規の資生堂Professional契約店ですので、酸熱トリートメントSUBLIMIC(サブプリミック)も自信を持ってお勧めしています。\*まつげエクステに際しても最高品質のセーブル、接着剤となるグルーも最も安全な日本製を使用しています。アンチエイジングにも注力し、今後はまつげパーマなども行う予定です。」

\*まつげエクステとは、自分のまつげ1本に、人工まつげ1本を装着する技術。つけまつげより自然な仕上がりになります。



縮毛矯正のような薬剤に頼ることなく、髪のゆがみをノーダメージで美しく改善するSUBLIMIC。資生堂の毛髪形状ケアテクノロジーが生み出した画期的なトリートメントを、ぜひ一度。



▲これが▼こうなります。写真提供:呷美圭さん



- 〈メニューの一例〉
- パーマ/コスメカル ¥8,000~
- カラー/おしゃれ染め ¥6,500~
- カット/カット+ブロー ¥3,500~
- セット/ブロースタイリング ¥1,800~
- 酸熱トリートメント ¥7,000~
- ヘッドスパ ¥3,000~
- 頭皮クレンジング ¥2,300~
- まつげエクステ/eyelash (シングル) ~80本 ¥5,000



## Company Profile

Luana by. OSHAREKAN  
椎内市緑1丁目4番3号 ©0162-22-7581  
■営業内容/ヘアカット、セット、カラー、パーマ、酸熱トリートメント、頭皮クレンジング、まつげエクステンション、着付け、化粧品類の販売  
■開業/2019年9月 ■営業時間/10:00~19:00(パーマ、カラーは17:00まで) ■定休日/毎週月曜日、第1・第3火曜日

## Personal Profile

呷美圭さん  
1984(昭和59)年、椎内市生まれ。高校へ進学するも自主退学し、理美容の世界を志す。旭川理容美容専門学校[理容科2003(平成15)年3月卒、美容科2016(平成28年9月卒)]を卒業後、他の理・美容室で経験を積む。2019(平成31)年独立し、実家の母が営む美容室を刷新し、9月にLuanaを開業する。